

# Press Release

報道各位

2021年11月2日  
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
公益財団法人ミモカ美術振興財団

## 企画展「丸亀での現在」

2021年12月18日 [土] ~ 2022年3月21日 [月・祝]

「地方都市の現在—丸亀の場合(仮タイトル)」(2020.02.20)

「セルフ—self-service」(2020.02.20)

「地方都市の現在>中堅作家の現在>美術館の現在>美術界?」(2020.02.20)

「ポスト成長都市のセルフ」(2020.02.20)

「ト—枯れたらいいわ」(2020.02.20)

「セルフ—もう成長することのない世界の熱れと美術界と売れない作家展—」(2020.02.20)

「セルフ三景」(2020.02.20)

「グループ展」(2020.04.13)

「丸亀の新たな場合/セルフ—スタディーズ」(2020.04.13)

「セルフ—スタディーズ—モ丸亀で—」(2020.04.13)

「セルフ—スタディーズ—ほんまに〇〇丸亀は〇で学び舎の林だ—」(2020.04.13)

「self-generated」(2020.04.13)

「セルフ—ディスタンス」(2020.04.13)

「セルフ—ディスタンス—ダンス」(2020.04.13)

「Self-Distance Dance」(2020.04.13)

「Self-Distance, This-TANSU」(2020.04.13)

「ゲスト—AIリサーチ—モハマッド—アスラム—ワ—コロジヤ」(2020.04.13)

「コロちゃん—怒りのアフガン」(2020.04.13)

「もしもピアノが弾けたなら」(2020.04.13)

「もしも丸亀がアフガニスタンだったら」(2020.04.13)

「場枯らし」(2020.04.13)

「へモの緒—umbilical-cord」(2021.02.21)

2021年12月18日 [土] ~ 2022年3月21日 [月・祝]

休 館 日 | 月曜日 (ただし2022年1月3日、10日、3月21日は開館)。  
12月25日 (土) ~ 31日 (日)、2022年1月4日 (土)、11日 (日)

開 館 時 間 | 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

観 覧 料 | 一般950円 (760円)、大学生650円 (520円)  
高校生以下または16歳未満 | 丸亀市立美術館定額減額  
※1 | 内容は変更し及び2021年12月13日開館日  
※2 | 団体観覧料 (観覧日・時間、人数) による。お問い合わせ先: 本館

主 催 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団  
助 成 | 一般財団法人自治総合センター、芸術文化振興基金、  
公益財団法人花王芸術・科学財団、  
一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団

Date: Start on December 18th and end on March 21st 2022  
City: Marugame, Tokushima Prefecture, Japan  
Location: Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art  
Address: 1-1-1, Marugame, Tokushima Prefecture, Japan (opening time)  
Admission: Adults (18 years old and over) 950 yen (760 yen), Children (6 years old and over) 650 yen (520 yen)  
\*Ticket valid for admission to the Permanent Collection.  
Organized by: Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art,  
The MIMOCA Foundation,  
Subsided by: Japan Center for Local Autonomy, Japan Arts Fund,  
The Kikk Foundation for Arts and Sciences,  
The Hyakujishi Bank, Academic Culture Promotion Foundation

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art

丸亀での現在  
In Marugame  
- At the Moment - Three Artist Collectives

チラシビジュアル  
デザイン: 丸山晶崇 (株式会社と)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (MIMOCA) は、現代アーティスト3組による企画展を開催します。本展では、KOSUGE1-16、Nadegata Instant Party、旅するリサーチ・ラボラトリーがそれぞれ丸亀でのリサーチをもとに新作を制作・発表します。

報道各社様におかれましては、この機会にぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

[お問い合わせ先]  
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
公益財団法人ミモカ美術振興財団  
企画展担当: 竹崎瑞季 広報担当: 奥本未世  
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1  
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766  
[www.mimoca.org](http://www.mimoca.org) E-mail. [press@mimoca.org](mailto:press@mimoca.org)

## ■本展について

かつて、城下町として発展し、金刀比羅宮への海の玄関口として多くの参詣者も訪れた丸亀。現在は、香川第二の都市として約 11 万人が暮らしています。

本展は、地方都市の一例として、現代の丸亀に焦点を当てます。地域と関わるアートの現状や課題も含め、現代社会への独自の視座を持つアーティスト 3 組、KOSUGE1-16、Nadegata Instant Party、旅するリサーチ・ラボラトリーが、丸亀でのリサーチをもとに展覧会をつくり上げます。

2020 年春、展覧会の準備段階早々で本格化したコロナ禍で、3 組がリサーチの可能性を探り、それぞれのアプローチを生かし、協働することを試みます。個々の表現者から構成される 3 組のコレクティブによる、丸亀でしかあり得ない現在の実態をぜひご覧ください。

## ■本展の見どころ

### (1) 現代アートを通して探る「丸亀」

アーティストが丸亀の歴史や生活文化をリサーチしたり、丸亀の人々と交流したりしながら作品を制作します。たとえば KOSUGE1-16 は、丸亀の歴史や生活文化などのリサーチをもとに、人と犬の関わり方の歴史と現在から構想した体験型のインスタレーションを発表します。現代アートを通して、地域の新たな姿が浮かび上がります。

### (2) コロナ禍の「現在」

展覧会の準備期間中にコロナ禍が本格化し、地域のリサーチや人々と直接交流することが難しい局面を迎えました。一方で、オンラインによる新たな交流の可能性も生まれました。Nadegata Instant Party は、丸亀と全国をオンラインでつなぐホームステイのプロジェクトを実施し、地域の人々と交流しながら新作を制作します。コロナ禍における日常の変化も含め、まさに「現在」ならではの状況が映し出されます。

#### <本展関連プロジェクト>

#### Nadegata Instant Party 「ホームステイホーム」

●説明会 11月7日(日) 11:00-12:00 @マルタス 1F 多目的ホール

●オンライン・ホームステイ

11月13日(土) 18:30-20:30 / 11月14日(日) 11:30-12:30

地域住民から参加者を募集し、オンラインでのホームステイを実施します。

2日目の14日には、地域の参加者と Nadegata Instant Party が美術館に集まり、フィナーレのイベントを行います。

※3日間、出品作家が丸亀に滞在します。プログラム中、取材にも応じます。



### (3) 3組のアーティストによる「協働」

アーティスト 3 組がバラバラに制作した作品を展示するのではなく、それぞれの得意分野やアプローチを生かし、協働することで、これまでにない展覧会のかたちを探ります。旅するリサーチ・ラボラトリーは、他の 2 組のリサーチや作品制作、展覧会準備のプロセス自体にフォーカスします。それにより、作品や展覧会ができるまでの試行錯誤や創造の背景までも明らかにします。

## ■出品作家プロフィール

コスゲイテノジュウロク  
**KOSUGE1-16**



Photo: Hikaru Saito

車田智志乃と土谷享によるアーティスト・ユニットとして 2001 年より活動を開始。現在はこれまでのコンセプトを引き継ぎ、土谷が代表として活動する。日常のありふれた環境、現象、人のつながりなどをきっかけに作品を制作し、作品を通して鑑賞者を参加者に変質させ、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を構築する。本展では、丸亀でのリサーチを行い、人と犬の関わりりの歴史と現在から構想した新作インスタレーションを展示します。

ナデガタ・インスタント・パーティー  
**Nadegata Instant Party**



美術家中崎透、山城大督、アートマネージャーの野田智子によるアーティスト・ユニットとして 2006 年より活動を開始。地域コミュニティにコミットし、それぞれの場所や状況に応じた「口実」を立ち上げ、多くの参加者を巻き込みながらひとつの出来事を「現実」としてつくり上げていく。「口実」によって「現実」が変わっていくプロセスをストーリー化し、映像や演劇的手法、インスタレーションなどを組み合わせながら作品を展開している。本展では、ステイホームの日常をふまえ、コロナ禍で転換した状況をさらに転換するプロジェクトを立ち上げ、そのプロセスを含めて作品として提示します。

## 旅するリサーチ・ラボラトリー



アーティストの mamoru、下道基行、デザイナーの丸山晶崇が中心となり 2014 年より活動を開始。2017 年にアートマネージャーの芦部玲奈が加わる。ジャンルを問わず興味深いフィールドワークとアウトプットをしているリサーチャーや各地の資料館、美術館などを訪ね、リサーチの手法やアウトプット、またそれらにまつわる作法に関するリサーチを行っている。本展では、他の 2 組による丸亀でのリサーチや作品制作、展覧会準備のプロセス自体を追い、リサーチとそのアウトプットをめぐる新たな展開をつくり出すことを試みます。

## ■開催概要

展覧会名 | 丸亀での現在

主催 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助成 | 一般財団法人自治総合センター、芸術文化振興基金、公益財団法人花王 芸術・科学財団、一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団

会場 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室 C

会期 | 2021年12月18日(土)~2022年3月21日(月・祝)

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで)

休館日 | 月曜日(ただし2022年1月3日、10日、3月21日は開館)、  
12月25日[土]-31日[金]、2022年1月4日[火]、11日[火]

入館料 | 一般950円(760円)、大学生650円(520円) 常設展の観覧料含む  
高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
※( )内は前売り及び20名以上の団体料金

同時開催

常設展「猪熊弦一郎展 NYでみた絵、かいた絵」

入館料 : 一般300円(240円)、大学生200円(160円) ※企画展の観覧料は別途

## ■関連プログラムについて

**親子でMIMOCAの日**

2022年2月19日(土)、20日(日)

子どもが芸術に触れる機会を増やすことを目的として2020年度より開始しました。この日は高校生以下または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となります。

※その他の関連プログラムについては、新型コロナウイルスの感染状況によって開催の判断をいたします。開催が決定しだい、改めてお知らせいたします。

## ■広報用画像について

出品作家のプロフィール画像や参考図版などを広報用にご提供いたします。  
ご希望の方は下記 URL からお申し込みください。

<https://www.mimoca.org/ja/press/>



1. 「丸亀での現在」展チラシ  
ジュラル デザイン：丸山晶崇  
(株式会社と)



2. KOSUGE1-16 (Photo: Hikaru Saito)



3. KOSUGE1-16 《モチ Ω スクランプル》2018年 高知県立美術館 ©都築憲司 [参考図版]



4. Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)



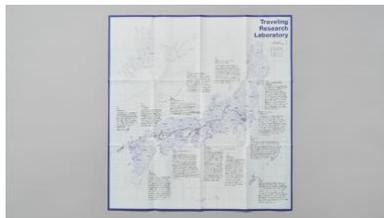
5. Nadegata Instant Party 《カントリー・ロード・ショー/COUNTRY ROAD SHOW》2012年 「MOT アニュアル 2012 Making Situations, Editing Landscapes 風が吹けば桶屋が儲かる」東京都現代美術館 [参考図版]



6. Nadegata Instant Party 《ホームステイホーム》ドローイング 2021年



7. 旅するリサーチ・ラボラトリー (mamoru+下道基行+丸山晶崇+芦部玲奈)



8. 旅するリサーチ・ラボラトリー (Photo:阿部良寛) [参考図版]



9. 旅するリサーチ・ラボラトリー (丸亀でのリサーチ)